

2006年12月22日
東日本旅客鉄道(株)

2007年3月 ダイヤ改正について

JR東日本では、2007年3月に常磐線での普通列車グリーン車の営業開始や仙台空港鉄道との直通運転開始など、首都圏及び仙台都市圏を中心としたダイヤ改正を実施します。

このたび、ダイヤ改正の詳細がまとまりましたので、お知らせいたします。

ダイヤ改正の主な内容

- ・常磐線普通列車グリーン車の営業開始
- ・山手線・武蔵野線朝通勤時間帯の増発
- ・仙台空港鉄道との直通運転開始
- ・新型車両の投入

ダイヤ改正日

2007年3月18日(日)

1. 常磐線で普通列車グリーン車の営業を開始します！

(1) 新型車両を追加投入します

昨年7月の新型車両E531系90両投入に続き、210両（内、44両グリーン車）を常磐線に追加投入します。これにより上野～土浦間の中距離電車を全てE531系に統一し、新型車両によるサービス向上を図ります。

(2) 普通列車グリーン車の営業を開始します

一昨年から湘南新宿ライン・宇都宮線・高崎線で普通列車グリーン車サービスを開始し、ご好評を戴いていますが、新たに常磐線へE531系2階建てグリーン車44両を投入し、上野～高萩間で普通列車グリーン車サービスを開始します。

また、これにあわせ同区間に「グリーン車 Suica システム」を導入し、車内改札を省略して快適な空間をご提供するほか、グリーンアテンダントが乗務し、お飲み物等の車内販売サービスを開始します。

《常磐線普通列車グリーン車投入概要》

投入区間 上野～高萩間

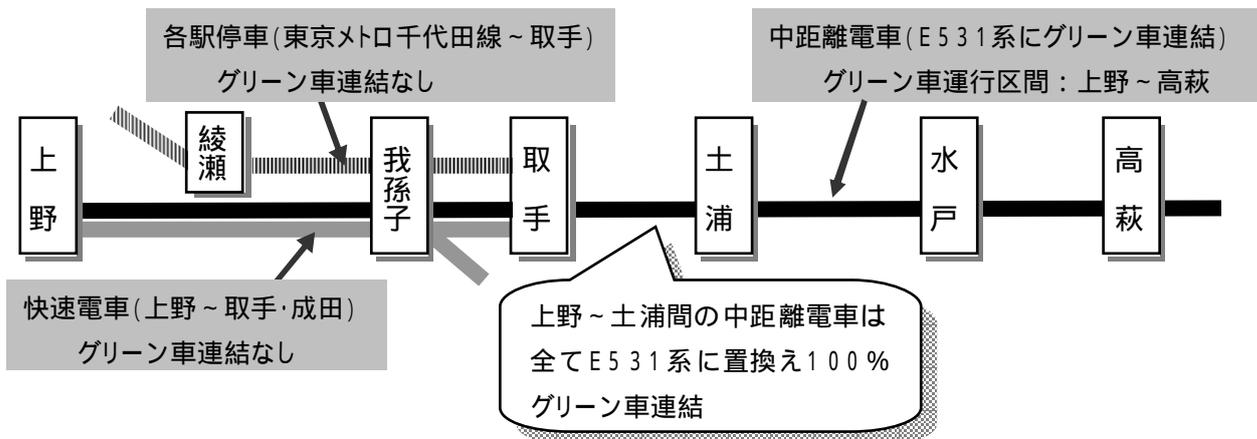
投入列車 上記区間をE531系で運転する中距離電車
 上野～土浦間の中距離電車は100%グリーン車を連結
 土浦～高萩間を運転するE501系・415系はグリーン車を連結しません

投入本数 68往復（上野発着67往復、我孫子発着1往復）

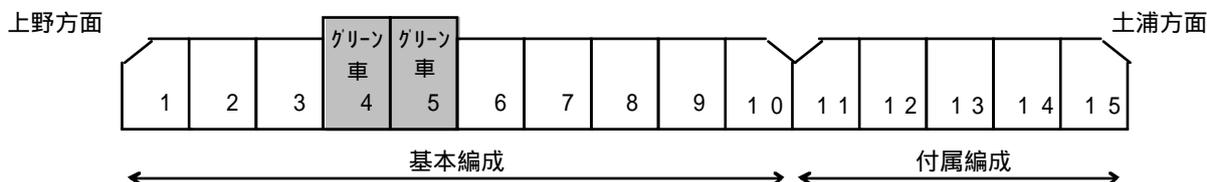
連結位置 上野寄りから4・5両目（4・5号車）の2両

グリーン車は2007年1月6日（土）から順次投入しますが、ダイヤ改正前日まではグリーン券なしでご利用戴けます。

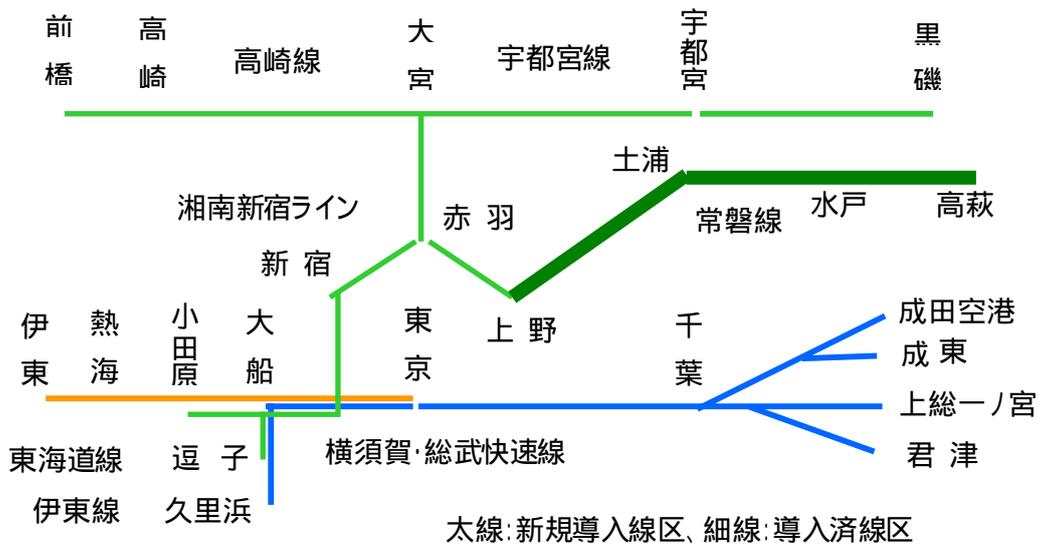
（常磐線の輸送体系と普通列車グリーン車投入列車）



（E531系車両の編成図）



〔グリーン車Suicaシステム導入線区〕



2. 通勤時間帯の混雑を緩和します！

(1) 山手線の朝通勤ピーク時間帯に増発します

朝通勤時間帯の混雑率が高い山手線は、デジタルATC化により増発が可能になったことから、朝通勤ピーク1時間に外回り電車を1本増発(24本→25本)して混雑緩和を図ります。

〔山手線増発による混雑緩和効果(想定)〕

	運転本数(ピーク1時間)	増減	混雑率	増減
山手線外回り (上野 御徒町)	24本 → 25本	+1本	216% → 208%	8%

(2) 武蔵野線の朝通勤ピーク時間帯に増発します

武蔵野線は、これまでご利用の増加に対応して増発や編成増強を行ってききましたが、いまだに上りの混雑率が高いことから、朝通勤ピーク1時間に新習志野発・府中本町行上り電車を1本増発(13本→14本)して混雑緩和を図ります。

〔武蔵野線増発による混雑緩和効果(想定)〕

	運転本数(ピーク1時間)	増減	混雑率	増減
武蔵野線 (東浦和 南浦和)	13本 → 14本	+1本	201% → 186%	15%

(3) 中央快速線等に新型車両を投入します

中央快速・青梅・五日市・八高線の201系を車体幅の広い新型車両E233系に順次取り替えを行い、今年度はE233系を230両投入します。

《E233系の特徴》

故障に強い車両

電気機器や保安装置など主要機器を二重系化

人と地球にやさしい車両

バリアフリー化、ユニバーサルデザインの採用や空気清浄器の設置、腰掛幅の拡大、エネルギー効率の大幅な向上、など

情報案内等の機能向上

山手線で採用している情報案内表示器を各ドア上に設置して運行情報やニュース等を表示、わかりやすいフルカラー行先表示器を採用

3. 乗車チャンスを拡大します！

(1) 京葉線海浜幕張駅に停車する特急列車を増やします

データイムを中心に、外房線特急「わかしお」と内房線特急「さざなみ」の海浜幕張駅停車を増やし（上下13本 26本）、乗車チャンスを拡大します。

（海浜幕張駅に新たに停車する列車）

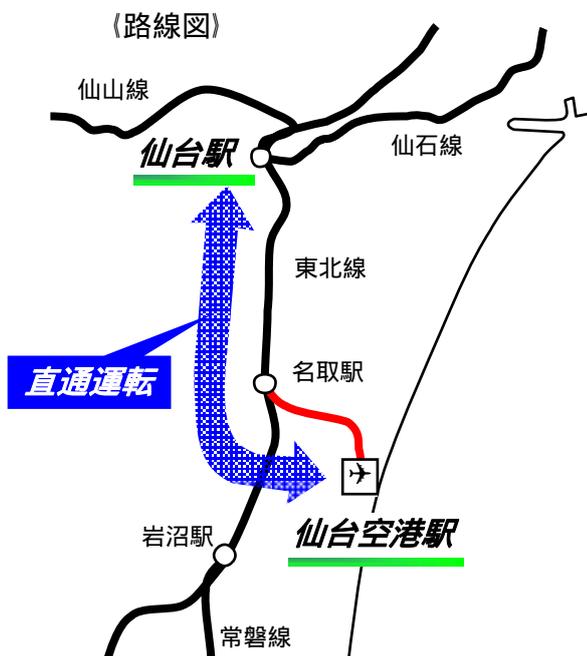
特急「さざなみ」 下り 1・3号

特急「わかしお」 下り 1・7・9・11・13・15・17号、上り 10・12・14・16号

(2) 南武線のデータイムに増発します

データイムの12時から16時までの各時間で、上下各1本ずつの増発（川崎～立川間）を行い、乗車チャンスを拡大します。（1時間当りの片道運転本数：5本 6本）

4. 仙台空港鉄道と東北線の直通運転を開始します！



仙台空港鉄道(株)の仙台空港アクセス線開業(名取～仙台空港間)に合わせ、仙台～仙台空港間で相互直通運転を開始します。また、直通運転用として新型車両E721系を8両投入します。(その他、仙台空港鉄道(株)はSAT721系を6両投入)

(仙台空港への輸送概要)

運転区間 仙台～仙台空港間 (17.5km)

運転本数 2～3本/時 終日40往復

運転形態 快速・普通

ワンマン運転を計画

所要時間 快速17分、普通24分 (最速)

編成両数 朝・夕夜間 4両又は6両編成

データイム 2両又は4両編成

5 . 列車内を全面禁煙とします

これまで長野新幹線「あさま」、特急「成田エクスプレス」など一部の列車で全面禁煙を実施してきましたが、今回のダイヤ改正より当社内の東北新幹線「はやて」、秋田新幹線「こまち」などの新幹線及び特急「スーパーひたち」「あずさ」などの特急列車を全面禁煙とします。

他会社に直通する列車のうち特急「はくたか」「しなの」、急行「きたぐに」「能登」、寝台列車及び一部の団体臨時列車などは除く。

6 . その他の輸送改善等

(1) 新型車両の投入

東北・常磐・仙山線に新型車両 E721系を50両(仙台空港直通用を除く)投入します。
水郡線に新型車両キハE130系を24両投入します。

(E721系の特徴)

車両の床面を下げ(低床車両)、車両入口のステップをなくし、ホームとの段差を解消
車椅子スペース、車椅子対応トイレの設置
出入り口は両開きタイプの3扉

(キハE130系の特徴)

車両の床面を下げ、車両入口のステップの高さを縮小
車椅子スペース、車椅子対応トイレの設置
排気中の窒素酸化物、黒鉛等を低減する
新型エンジンを搭載
出入り口は両開きタイプの3扉

(2) 新駅開業

東北線、仙山線、篠ノ井線で以下のとおり新駅が開業します。

線名・区間	新 駅 名 称	所 在 地	停車本数(平日)
東北線 (南仙台～長町間)	「太子堂駅」 (たいしどう)	宮城県仙台市	上下 228本 (普通列車)
仙山線 (北山～国見間)	「東北福祉大前駅」 (とうほくふくしだいまえ)	宮城県仙台市	上下 92本 (快速・普通列車)
篠ノ井線 (村井～南松本間)	「平田駅」 (ひらた)	長野県松本市	上下 89本 (快速・普通列車)

(3) 快速「ムーンライトながら」の運転時刻等の見直し

快速「ムーンライトながら」(東京～大垣間)の運転時刻をご利用しやすい時間帯に変更するとともに、全車指定席区間の拡大や一部停車駅の見直しを行います。

(4) 特急列車の見直し

ご利用の少ない特急「東海」(東京～静岡間)を廃止します。

(5) アスベスト対策

石綿を車体断熱材として使用している車両については、2007年3月末をもって、営業列車からなくなります。

注意：列車時刻の詳細は、2007年2月16日発売予定の「JR時刻表3月号」でご確認下さい。